

高齢者支援における心理職 のあり方と心理士(師)養成 の課題

東京未来大学

モチベーション行動科学部

高橋一公

日本における心理職(資格)

国家資格

公認心理師(文部科学省・厚生労働省)

キャリア・コンサルタント(※ 厚生労働省)

民間資格(社団法人等の認定)

臨床心理士(公益財団法人 日本臨床心理士資格認定協会)

臨床発達心理士(一般社団法人 臨床発達心理士認定運営機構)

学校心理士(一般社団法人 学校心理士認定運営機構)

特別支援教育士(※ 一般財団法人 特別支援教育士資格認定協会)

産業カウンセラー(一般社団法人 日本産業カウンセラー協会)

認定心理士(※ 公益社団法人 日本心理学会) など

学会認定等は数知れず……

心理職は高齢者支援に目を向けているのか？

1. 高齢者支援、教育のできる心理職はいるのか？
2. 国家資格「公認心理師」カリキュラムに見る高齢者支援の課題
3. 多職種連携の中の心理職のあり方

高齢者の心理的支援に関する学会は？

→2018年に設立された「日本老年臨床心理学会」1つのみ

※日本初の老人研究に関する学会は1958年に「日本老年学会」が設立されている

1. 高齢者支援、教育のできる心理職はいるのか？ 高齢者研究を掲げる心理学者

Web上の研究者総覧である“researchmap”に登録されている研究分野「心理学」にお登録されている研究者は6788名、内

研究キーワード

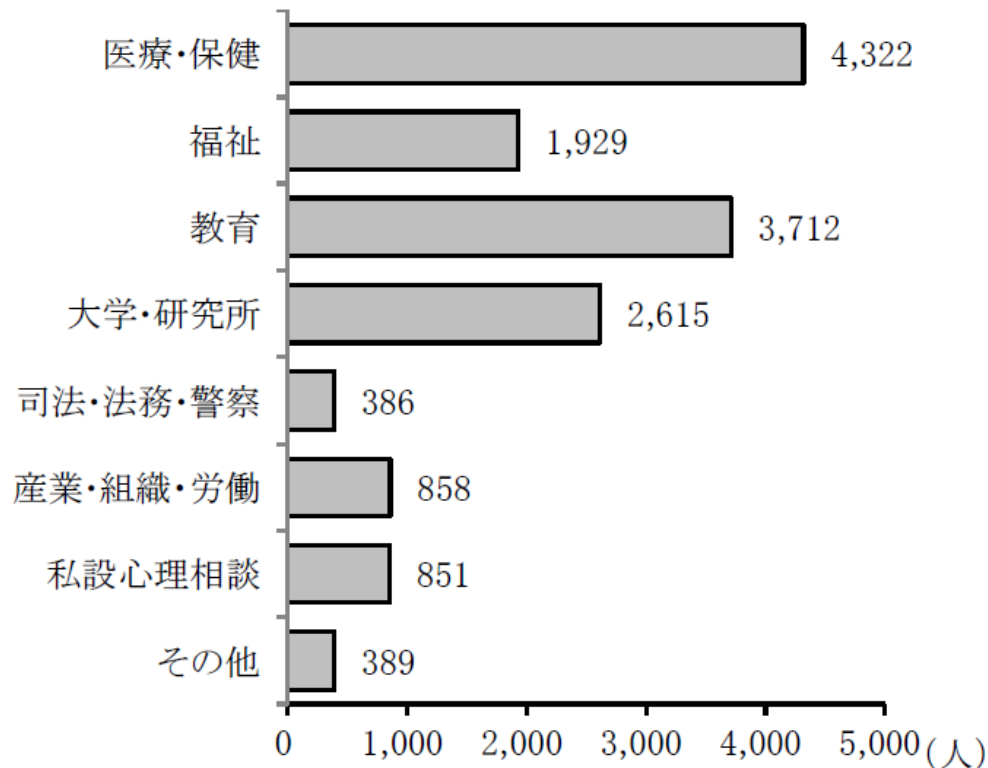
「高齢者」	:	総件数82名
「老年」	:	総件数44名
「老人」	:	総件数5名

(重複あり)

専門資格有資格者の場合 臨床心理士の職域

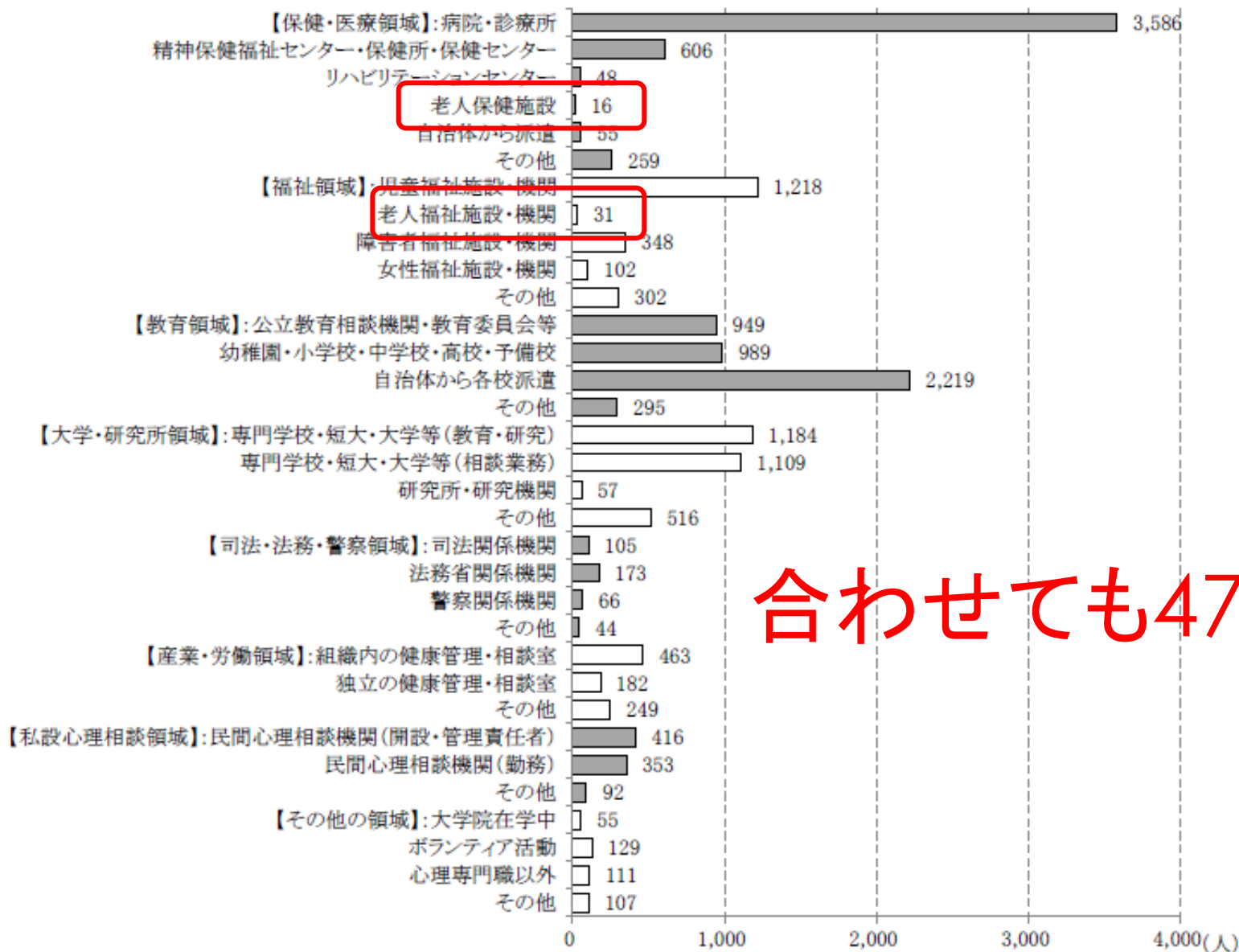
勤務形態によらない臨床心理士の職域

(2016年4月 回答者数10321名、複数回答)



高齢者に関わる現場で働く臨床心理士？

(回答者数10321名、複数回答)



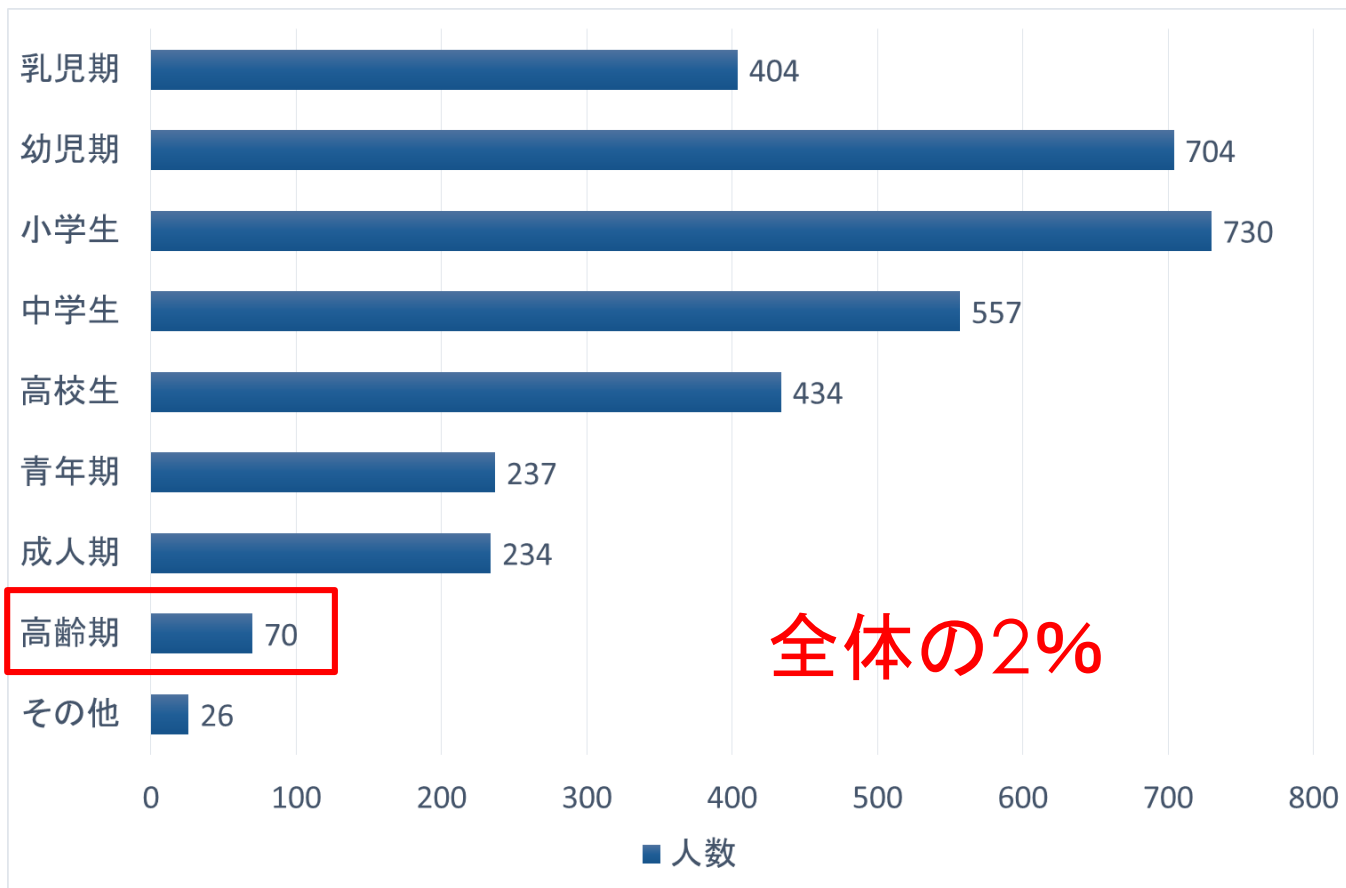
合わせても47名

臨床心理士の主たる勤務機関

(2016年4月 回答者数10321名)



合わせても18名



臨床発達心理師の支援対象

表1 主たる支援対象者

有資格者の年齢区分	乳児期	幼児期	小学生	中学生	高校生	青年期	成人期	高齢期	その他	合計
30歳未満	17	28	19	16	10	3	3	1	0	97
30歳以上35歳未満	37	61	53	36	22	16	19	6	1	251
35歳以上40歳未満	50	79	76	58	41	22	17	9	5	357
40歳以上50歳未満	112	194	194	153	132	71	70	19	4	949
50歳以上60歳未満	107	212	246	182	149	71	67	16	8	1058
60才以上	81	130	142	112	80	54	58	19	8	684
合計	404	704	730	557	434	237	234	70	26	3396

表2 得意な支援対象者

有資格者の年齢区分	乳児期	幼児期	小学生	中学生	高校生	青年期	成人期	高齢期	その他	合計
30歳未満	17	31	26	14	12	6	3	1	1	111
30歳以上35歳未満	41	60	53	36	24	20	18	5	0	257
35歳以上40歳未満	52	88	90	66	56	31	27	14	3	427
40歳以上50歳未満	125	211	216	168	136	97	77	18	6	1054
50歳以上60歳未満	126	245	264	207	159	106	86	31	8	1232
60才以上	86	143	149	108	83	64	67	25	9	734
合計	447	778	798	599	470	324	278	94	27	3815

やはり2%程度

2. 国家資格「公認心理師」カリキュラムに見る高齢者支援の課題

公認心理師受験のために必要な科目(学部)

- ①公認心理師の職責
- ②心理学概論
- ③臨床心理学概論
- ④心理学研究法
- ⑤心理学統計法
- ⑥心理学実験
- ⑦知覚・認知心理学
- ⑧学習・言語心理学
- ⑨感情・人格心理学
- ⑩神経・生理心理学
- ⑪家族・社会・集団心理学
- ⑫発達心理学
- ⑬障害者(児)心理学
- ⑭心理的アセスメント
- ⑮心理学的支援法
- ⑯健康・医療心理学
- ⑰福祉心理学
- ⑱教育・学校心理学
- ⑲司法・犯罪心理学
- ⑳産業・組織心理学
- ㉑人体の構造と機能及び疾病
- ㉒精神疾患とその治療
- ㉓関係行政論
- ㉔心理演習
- ㉕心理実習(80時間以上)

高齢者心理学はありません

公益社団法人日本心理学会 公認心理師養成大学教員連絡協議会 公認心理師大学カリキュラム 標準シラバスの改訂より

発達心理学

⑤高齢者の心理社会的課題及び必要な支援

高齢者の心理発達の課題と必要な支援

老化のメカニズム 回想と自伝的記憶 幸福感と死への準備

健康・医療心理学

②医療現場における心理社会的課題及び必要な支援

さまざまな医療現場(**高齢者医療**, 先端医療等)とコンサルテーション

延命治療 尊厳死 臓器移植 (高度)先駆的医療 がんの先進医療 在宅医療 心理相談 多職種連携

福祉心理学

①福祉現場において生じる問題及びその背景

社会福祉の制度・法律

社会福祉法 児童福祉関連 **高齢者関連** 障害者関連

②福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援

高齢者福祉分野の活動

高齢者福祉施設・サービス 在宅福祉 手段的日常生活動作(IADL)

司法犯罪心理学

①犯罪・非行，犯罪被害及び家事事件についての基本的知識

司法・犯罪分野の制度・法律・職種

刑法 刑事訴訟法 民事訴訟法 刑事施設法(旧監獄法) 少年法 (少年院法 少年鑑別所法) 医療観察法 児童虐待防止法 DV防止法 **高齢者虐待防止法** 障害者虐待防止法 犯罪被害者等基本法 道路交通法 法務技官 法務教官 家庭裁判所調査官 児童相談所心理司 児童相談所福祉司

心理実習

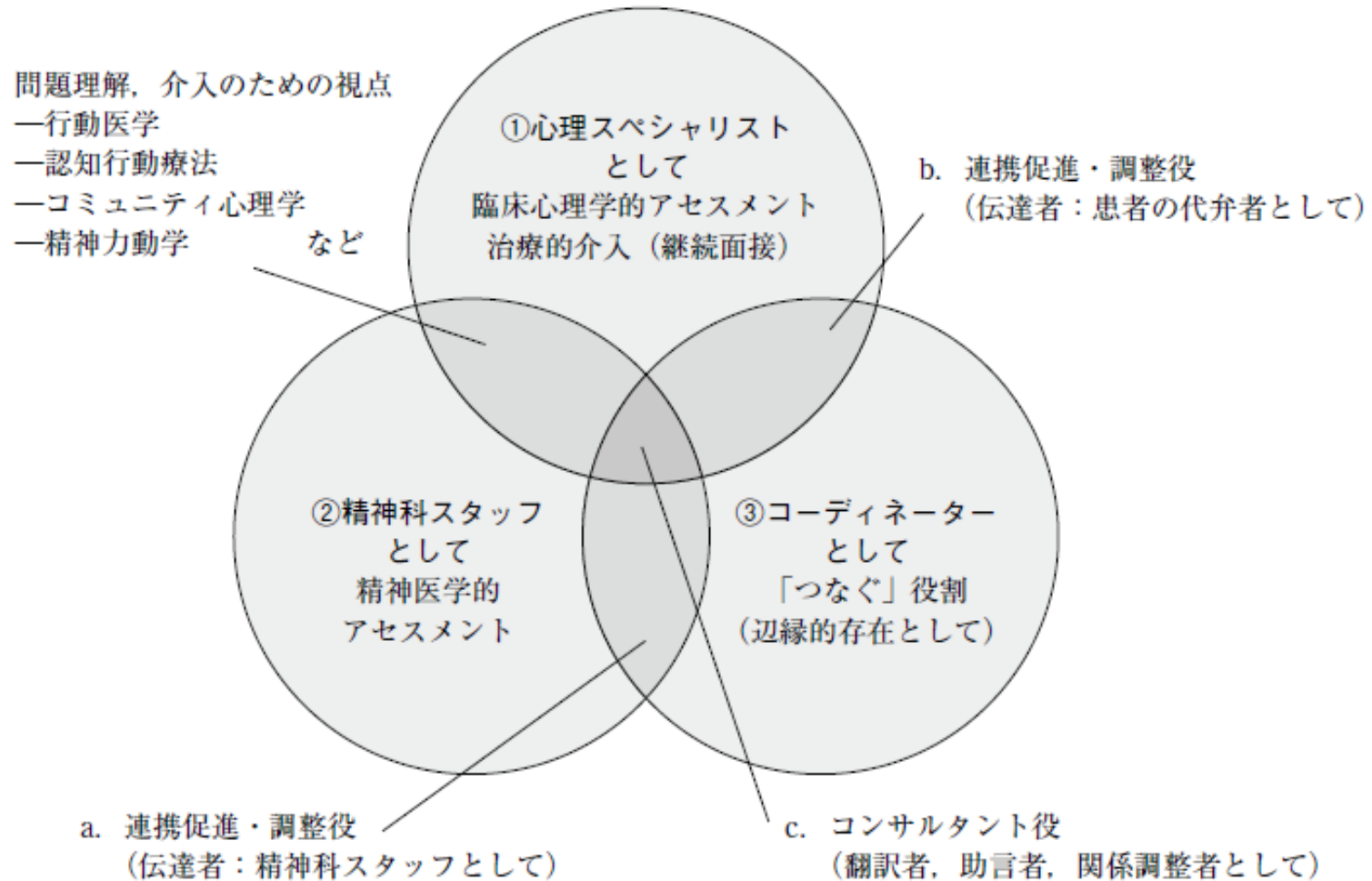
保健医療，福祉，教育，司法・犯罪，産業・労働の5つの分野の施設において，見学等による実習を行いながら，当該施設の実習指導者又は教員による指導を受ける。(ただし，経過措置として当分の間は，医療機関での実習を必須とし，医療機関以外の施設での実習については適宜行う。)

(ア)心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ

心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ

母性や乳幼児への心理的支援 **高齢者への心理的支援** .教育現場での心理的支援 子どもをめぐる問題への心理的支援 司法・犯罪分野での心理的支援 職場のメンタルヘルスにかかわる心理的支援 チームアプローチによる総合的支援の実践

3. 多職種連携の中の心理職のあり方 心理職に求められるもの



精神科リエゾンチームにおける心理職の役割

高齢者支援の心理職期待

平成23(2011)年

提言 「地域で暮らす高齢者を支援する専門職の
連携教育に向けて」

日本学術振興会 健康・生活委員会高齢者の健康分科会

「臨床心理領域の職には国家資格はなく、臨床心理に関する協会や学会等で認定する資格は多数あるが、高齢者の生活を支援する心理職の活動が役割、身分とも明確な位置づけになっていないこともあり、実践活動はとぼしい。」

十分な教育の結果としての

心理職の直接的支援と後方支援の可能性

(北村 2013)

直接的支援 : 高齢者に対する直接的な支援

行動変容や基礎心理学を応用した介入計画への参加

動機づけ理論などを活用した支援方法の提供

後方支援 : 家族・介護職員への支援

心理職が得意とする個人面接や見立ての技術を援用する

高齢者介護を担う家族への支援

介護職員のバーンアウト予防

いずにしても高齢者領域における専門教育の必要性は否めない

引用文献

- 一般社団法人臨床発達心理士認定機構日本臨床発達心理士会職能問題
検討委員会（2016） 第2回臨床発達心理士の動向および意識調
査 一般社団法人臨床発達心理士認定機構日本臨床発達心理士会
- 一般社団法人日本臨床心理士会（2016） 第7回「臨床心理士の動向調
査」 一般社団法人日本臨床心理士会
- 北村世都（2013） 認知症高齢者を支える人々の心理的理解と支援 -
後方支援者としての心理職にできること 広島大学大学院心理臨
床教育研究センター紀要 12, 12-17.
- 公益社団法人日本心理学会公認心理師養成大学教員連絡協議会
（2018） 公認心理師大学カリキュラム 標準シラバス（2018年
8月22日版） 公益社団法人日本心理学会
- 日本学術振興会 健康・生活委員会高齢者の健康分科会（2011） 地
域で暮らす高齢者を支援する専門職の連携教育に向けて 日本学
術振興会
- 富岡直 満田大 中嶋義文（2013） 多職種協働のために精神科リエ
ゾンチームの心理職に求められること - チームの内と外、二側
面による検討 - 総合病院精神医学 25(1), 33-40.

ご清聴感謝いたします
ありがとうございました